

NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

SOPHIA

JAN.2007

Vol.15 No.1

(第53号)

FUKUOKA SHIKAGAKUEN

CONTENTS

理事長・大学長
年頭挨拶 2

SEASONAL TOPICS
健康まるごと福岡歯科学園 3

COLLEGE NEWS
OSCE評価者養成
ワークショップ開催 4

FROM PARENTS
保護者からのメッセージ 5

FROM THE ALUMNI
ASSOCIATION
同窓会だより 6

HI FROM CLINICS
クリニックからこんにちは 7

平成19年度入試日程
大学特待生・短大特別奨学生 8

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

油山からの日の出

福岡歯科学園

理事長・大学長「年頭のご挨拶」



「中期構想実現に努力を！」 理事長 田中 健蔵

新年明けましてお目出とうございます。

世の中の動きは大変に激しく、国内外では多くの困難な課題が提起されています。私共は、そのような社会教育環境のもとで、建学の精神を忘れず、中期構想の実現に努力したいと思います。

今年は、

第一に、口腔医学の学問体系を確立し、社会、学界、医療界の理解、協力を得よう努力する。

摂食、嚥下、消化、発音、呼吸と多様な機能を有する口腔という臓器の疾患の予防、治療を担当する専門分野として口腔医学(口腔科)を確立することは、新時代の医療、歯科医療の将来像を考える上で、大変基本的なことである。

第二に、歯科医師国家試験、歯科医師需給、入学定員に関する問題は、学園にとっては大変大切な課題で、皆で協力努力し、文部科学省、厚生労働省、私立歯科大学協会などとの対応は慎重に行っていく。

第三に、教育の面では、実習重視型教育、チュートリアル教育を目指して、学生が意欲をもって勉学するよう、教育カリキュラムの改変を行い、施設・設備の改善を行う。歯科医師国家試験の上位定着をぜひ実現し、歯科衛生士試験の100%合格を継続し、また共用試験対策を充実するよう努める。併せて、歯学部が特色GPの獲得に努力する。

第四に、医科歯科総合病院は日本医療機能評価機構の評価を、福岡医療短期大学は短期大学基準協会の評価を受けるための周到な準備を行う。

第五に、研究の活性化のために、大学院の拡充整備に務め、また学術フロンティア研究センターの活躍を期待し、COEの獲得を目指す。教育研究経費および教員の重点配分を行い、科学研究費など、外部資金の導入にも努力する。

第六に、医科歯科総合病院の患者増を図り、学生の診療参加型臨床実習及び歯科医師臨床研修を充実させる。また、診療の責任体制を確立し、情報公開に務め、近接診療科として耳鼻咽喉科、口腔顔面美容医療センターを開設する。また、病院のIT化を推進する。介護老人保健施設、介護老人福祉施設は地域の保健・福祉に貢献するとともに、教育・研究の場として一層の活躍を期待する。

第七に、教職員の考課制度の確立と処遇への反映を図り、明るく楽しい職場環境をつくり、教職員がその職務を全うし、学園の活性化に寄与することを目指す。

以上、7項目の実現のため、皆様、元気で頑張りましょう。



「考えるより先ず行動を。」 福岡歯科大学長 本田 武司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはそれぞれご家族共々良いお正月をお迎えになったことと思います。振り返ってみますと、昨年は皆様方にとりましても、学園全体にとりましても大変慌ただしい1年で、取り上げると枚挙にいとまがないほど、本当に色々なことがございました。しかし、その多くは昨年中に解決あるいは達成をし、また新たな目標に向かう、道筋をつけてくれたような気が致します。人的にも、本学の草創期に関わりのあった殆どの皆様方が定年をお迎えになり、ご退職とともに本学に於ける世代の交代が終息したように思います。

これらのことを考え合せますと、今年は本学園にとりまして新しい時代の幕開けとなります。これまで、本学園の将来構想や中期構想達成のために全員一丸となって取り組んで参りましたが、達成できていないものがまだ多く残されています。当然、新たな幕開けの年となる今年の目標にこれら掲げて取り組んでいかれるわけですが、ご承知のように、時代の変化は目まぐるしく、また想像を絶する速さでことが進んでおります。時代に乗遅れないようにするためにも、“考えるより先ず行動を”という心意気で取り組んで頂きたいと思えます。

特に、教育面では国家試験成績の向上と上位安定、研究面ではフロンティアの継続とCOEクラスの獲得、また、大学院生を含めた若手研究者の養成、診療面では、2つの新たな診療部門の開設と患者さんの増員、そして医科歯科総合病院の活性化と口腔医学の認知にも努めなければなりません。これらの目標達成のためには皆様方の統一された意識の基でのご協力が必要だと思えますので、どうかこの1年間宜しくご協力の程お願い致します。

最後になりましたが、昨年は理事長先生を始め法人、並びに教職員の皆様方には一方ならぬお世話になりました。心からお礼を申し上げますと共に、今年が皆様方にとりまして素晴らしい年でありますように、心からお祈りを致しまして年頭のご挨拶にさせていただきます。

関口教授に瑞宝中綬章



平成18年秋の叙勲で関口睦夫・福岡歯科大学学術フロンティア研究センター長は、永年にわたる教育研究功労により瑞宝中綬章を受章されました。

本川病院長、教育功労者表彰



11月29日、本川渉・医科歯科総合病院長は、永年にわたる歯学教育功績により、平成18年度福岡県私立学校教育功労者として福岡県知事から表彰されました。

新評議員に

甲斐、近藤両課長を選任

8月の理事会において甲斐正紀・経理課長が、10月の理事会において近藤總子・学務課長が、職員のうちから選ばれる福岡歯科学園評議員として選任されました。任期は両評議員とも平成20年8月2日まで。

健康まるごと福岡歯科学園を開催

医療・保健・福祉だけでなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、10月28日、29日の両日、2回目となる「健康まるごと福岡歯科学園」が開催され、3,000人を超す市民がキャンパスを訪れました。

田の歯科祭

32回目を迎えた「田の歯科祭」は、正門北側駐車場を会場に、北林克之(4年)、高田俊輔(3年)両君の息の合った司会により南海キャンディーズのお笑いライブや次郎丸中学校・吹奏楽部による演奏、部活対抗体力測定などの企画がメインステージ上で繰り広げられました。



次郎丸中学校吹奏楽部の演奏

からだの科学展

「見る、聞く、触れる、からだの不思議」をテーマに福岡歯科大学本館学生ホール等で開催された「からだの科学展」には、小中学生を中心に684人が入場しました。特に、歯科材料を使って、指模型やカラーボール作製、ネイルアート、電子顕微鏡体験、腹腔鏡手術トレーニング体験などは行列が出来るほどの盛況でした。



ネイルアートに挑戦

ご用心!お口と介護

福岡医療短期大学は、「ご用心!お口と介護」と題して、本館食堂において、歯科衛生学科が歯磨きの大切さを、保健福祉学科は手洗いの大事さ等を328人の入場者にアピールしました。



歯磨きチェック!

医科・歯科無料相談

医科歯科総合病院1階では、専門医が健康に関する市民の悩みに答える「医科・歯科無料相談」を開設。子供連れの母親など201人が子供のむし歯や歯ならびなどの相談に訪れ、専門医のアドバイスに耳を傾けていました。



歯の無料相談

講演会

29日13時から、本館501講義室で、荒木正見教授(福岡歯科大学医療倫理学分野)による「長距離ランナー育成と昔話に学ぶ積極的癒しの知恵」についての講演が行なわれ、52人の参加者は、荒木教授の熱弁に聞き入っていました。

介護施設見学・介護無料相談

サンシャインシティ、サンシャインプラザで実施された「介護施設見学・介護無料相談」には、56人の市民が訪れました。サンシャインシティでは、展示された施設入所者の丹精こめた作品に見入る来場者の姿が目立ちました。

新教授紹介

あなん ひさし
阿南 壽 教授

口腔治療学講座
歯科保存学分野



略歴

九州大学歯学部卒。九州大学歯学部助手、講師を経て、平成18年10月福岡歯科大学教授に就任。歯学博士。大分県出身。

抱負

歯内療法は案外、学生諸君には理解しづらい分野です。そのため、わかりやすいプレゼンテーションを心がけ、「歯科医の良心」ともいわれる歯内療法を誠実に行うことができ、かつ夢を持った歯科医師の育成にお役に立ちたいと考えております。

第31回献体者慰霊祭

第31回献体者慰霊祭は、10月26日午後1時から博多区祇園町の普賢山萬行寺において、遺族、篤志献体申込者、福岡歯科大学学生ら527人が参列し、厳かに執り行われ、尊い1,308霊位のご冥福を祈り、合掌しました。



“弔慰のこぼ”を述べる学生代表 長尾拓郎君



在学生に見送られる参列者

第31回実験動物慰霊祭

第31回実験動物慰霊祭は、10月2日午後4時からアニマルセンターの実験動物慰霊碑前において、田中理事長、本田大学長、岡部アニマルセンター長ら64人が参列し、実験動物の諸霊に感謝し、冥福を祈念しました。



実験動物の諸霊に感謝

3大学合同シンポジウム開催

11月4日、福岡大学A棟401教室において地下鉄七隈線沿線の中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学による「3大学合同シンポジウム」が開催されました。今回のテーマは「禁煙宣言」。漫画家・高信太郎氏の自らの体験に基づく「絶煙のすすめ」を始め、福岡歯科大学からは、埴岡隆教授・口腔健康科学分野が「喫煙と歯周病」について講演を行い、禁煙の大切さを会場に集まった200人の参加者に訴えました。

第33回福岡歯科大学学会総会を開催

第33回福岡歯科大学学会総会は12月10日、福岡県歯科医師会館で開催され、学内外から331人が参加しました。学会総会では本川渉学会長の開会挨拶の後、一般口演や「患者が求める歯科医療」と題して全国で活躍している福岡歯科大学卒業の歯科医師によるシンポジウムが行われました。なお、今回の学会奨励賞には大学院4年徳富健太郎氏(冠橋義歯学)と同4年中尾彰宏氏(口腔腫瘍学)が選ばれました。

共用試験(OSCE)評価者 養成ワークショップ開催

11月18日～19日、平成18年度第3回共用試験歯学系OSCEワークショップ(主催:社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構)が本学で開催されました。このワークショップは、共用試験(OSCE)の実施に必要な評価者を養成することを目的に開催されています。28大学から56人(各大学より2人)が参加。参加者は、いかに評価を標準化するかについて模擬OSCEを行いながら、熱心に取り組んでいました。



模擬受験生を評価する参加者

附属病院管理運営事務研修会

10月12日、13日の2日間、福岡歯科大学及び福岡ガーデンパレスを会場に本学が当番校となり、日本私立歯科大学協会主催(宮崎隆・研修委員長)の第28回附属病院管理運営事務研修会が開催されました。研修会では、本川病院長の特別講演「病院長に就任して」の他、35人の参加者(附属病院の実務担当責任者等)が、各大学の実情や現在抱えている共通の諸問題(未収金対策等)について相互に率直な意見交換を行いました。参加者からは、「新たな情報、解決策等を得ることができ、大変有意義な研修会であった」との声が聞かれました。

日本歯科放射線学会 第11回臨床画像大会を開催

10月28日、29日の2日間、福岡県歯科医師会館でNPO法人日本歯科放射線学会第11回臨床画像大会(会長:湯浅賢治・本学画像診断学分野教授)が開催されました。

「悪性腫瘍と炎症性疾患の鑑別」の大会テーマで、特別講演「悪性腫瘍のマクロ病理」(田中陽一:東京歯科大学市川総合病院臨床検査病理)、「臨床所見からみた悪性腫瘍と炎症性疾患の鑑別」(前田顕之:本学口腔腫瘍学分野)の他、一般口演や症例読影会が行われました。150人が参加して、盛会の内に終了しました。



質問する参加者

国家試験のお知らせ

第100回歯科医師国家試験

日 時:平成19年2月10日(土)、11日(日)
場 所:第一薬科大学(福岡市南区玉川)
合格発表日:平成19年3月28日(水)午後

第16回歯科衛生士試験

日 時:平成19年3月4日(日)
場 所:九州大学六本松キャンパス(福岡市中央区六本松)
合格発表日:平成19年3月26日(月)午後

アメリカ合衆国

平成18年9月16日から30日にかけて歯科衛生学科の8人(専攻科生6人、3年生2人)は、金子憲章教授の引率のもとアメリカ・カリフォルニア州ロマリダ大学歯学部・歯科衛生士学部、チェフィーカレッジ(歯科助手養成コース)およびロマリダ大学周辺の歯科開業医を訪問し、交流を行いました。参加者たちは、アメリカの文化や生活に直接触れるため、それぞれホームステイをしながら、英会話レッスンや色々なプログラムを体験するなど有意義な研修を行いました。



チェフィーカレッジ実習室にて

福岡医療短期大学・海外研修

韓国

平成18年9月20日～22日の日程で、歯科衛生学科3学年87人が、緒方稔泰教授、廣瀬武尚助教授、貴島正子助手の引率により、姉妹校である東釜山大学・歯衛生科(釜山・韓国)を訪問しました。東釜山大学では施設見学のほか、歯衛生科主催の第3回デンタルサイエンス東釜山大学2006(The 3rd Dental Science DPC 2006)の開会式に参加し、歓迎式典が催されました。式典後の交流会では両校の学生がそれぞれ積極的に、歌・ダンス・楽器演奏をするなど、両校間の親睦を深めました。



日韓一緒に「ハイ、キムチ!」

海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
口腔インプラント学	教授	松浦正朗	第22回アジア口腔インプラント学会にて講演のため	北京(中国)	自:H.18.10.17 至:H.18.10.20
口腔腫瘍学	助手	村山敦	第7回アジア口腔外科学会にて発表のため	香港(中国)	自:H.18.11.5 至:H.18.11.9
生体工学	教授	松家茂樹	バーミンガム大学 Dr.Artemis Stamboulis とロンドン、インペリアル大学のProfessor Robert Hill ならびに他のイギリス側研究者と従来の研究成果並びに今後の研究計画についての打ち合わせのため	ロンドン、バーミンガム(イギリス)	自:H.18.12.12 至:H.18.12.20
口腔外科学 矯正歯科学	講師 講師	宇治寿隆 久永豊	平成18年度臨床研修歯科医海外研修者(14名)の引率及びロマリダ大学歯学部、カリフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部、南カリフォルニア大学歯学部の視察並びに現地デンタルオフィス関連施設の訪問視察のため	ロマリダ ロサンゼルス (アメリカ)	自:H.19.3.3 至:H.19.3.11
成育小児歯科学	助教授	尾崎正雄	①第85回国際歯科学会総会にて発表のため ②Columbia University Medical CenterのDr.Michael S.Downes と歯牙切削感覚教育プログラムの打ち合わせのため	ニューオリンズ ニューヨーク(アメリカ)	自:H.18.3.16 至:H.18.3.26
総合歯科学	助手	鈴木奈央	第85回国際歯科学会総会にて発表のため	ニューオリンズ (アメリカ)	自:H.18.3.20 至:H.18.3.26

【福岡医療短期大学】

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
歯科衛生学科	教授	升井一朗	7th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgeryにて発表のため	香港(中国)	自:H.18.11.5 至:H.18.11.9

保護者からのメッセージ FROM PARENTS



陶山 肇 = 文

「いろいろな経験を」

息子が福岡歯科大学にお世話になるようになって2年目になりました。新しい生活環境にも慣れ、クラブの先輩にも恵まれ、オールデンタル出場など充実した学生生活を送っているようです。これも諸先生方、先輩のみなさまのおかげと親として大変感謝しています。学業の方はと言うと、「高校の時よりも勉強してるかもしれない」と自分で言うぐらいですから、私の学生時代からすると想像もできません。歯科界、医療界が厳しくなっている昨今は、国家試験も含めて、今の学生さんの方が大変なのでしょう。

さて、私はというと、福岡歯科大学を卒業して早くも27年が経過しようとしています。社会に出てからの方が学生終了までの時間よりも長くなったことになります。私は一期生でしたので、先輩がいないため、自分たちのやりたいクラブや同好会をどんど

ん創って熱中していたのを思い出します。大学の伝統とかいうものはまだ何もできていなかった時代ですので、自由にいろいろな経験をする機会が今の学生さんよりもずっと多かったように思います。何事も最初ということで苦勞もありましたが、何かを新たに始める、創り出すという経験は後に社会に出てからいろんな面でたいへん役に立っています。

歯科医という仕事は奥が深くやりがいのある仕事です。学生のみなさんには国家試験合格が最終目標ではなく、その後の社会における歯科の分野でどのように自分は生きて行くのかを常に頭に思い描いて、今の学生生活を有意義に過ごしてほしいと思います。と同時に学生の時にしかできないいろいろな経験をひとつでも多くしてほしいと思っています。



玉城 生夫 = 文

「雑感」

光陰矢の如し、1期生として卒業し早27年が過ぎた。昨年、開業25周年を迎え家族、スタッフと共にささやかなお祝いをした。

今年の5月には、約1ヶ月半休診しリニューアルをした。

25年間、日曜祝祭日以外は休むことなく、愚痴も言わず、私を支えてくれた愛用の5台のユニットも、そろそろリタイヤさせてくれと耳元で囁きはじめたからだ。

これまで1台のユニットも入れ替えることなく仕事をしてこれたのも、毎日ていねいに手入れをしてくれたスタッフのお陰だと、心から感謝している。

その5台のユニットとお別れの夜は労をねぎらい又、これまで支えてくれた人々に感謝しつつひとり酒を飲んだ。

今回はユニットを4台にした。予算のこともあったが、本音はもう5台を走り廻る体力がないからだ。

診療開始の前日の夜もおおげさだが、「第2の人生のスタート」の意を込めて真新しいユニットや機器と酒を飲んだ。「すべては患者さんのために、

真心をこめ、誠意をもって」をモットーに、初心にかえり頑張ってみた。

話は変わるが、先月九州歯科医学大会が宮崎県で開催された。同窓会の懇親会で久しぶりに旧友に会った。お互い瞬時に学生時代に戻れる。酒を酌み交わしいろいろな話に花を咲かせた。ほんとに古き良き学生時代であった。現在、息子も私がかつて学んだ同じ学舎で学んでいる。大変感慨深いものがある。将来、彼と共通の話題を共有できるのも嬉しい。彼も、私と同じように良き友、すばらしい先生方と出会い、楽しい思い出に残る学生生活を送ってほしい。

佐賀県では4月、同期の寺尾隆治先生が県歯学会長に再任された。沖縄県でも6期の高嶺明彦先生が、4月より県歯学会長に就任された。私も微力ながらお手伝いさせていただいている。息子達のため将来少しでも明るく、希望のもてる歯科界を築くため、私もまだまだ頑張りたい。

美ら島といわれる遠い南の島沖縄で…

(平成18年11月記)

歯学体冬期部門開催

第39回全日本歯科学学生総合体育大会冬期部門(事務主管:松本歯科大学)のラグビーフットボール部門が、12月23日より28日まで松本歯科大学陸上競技場や小坂田公園多目的運動場で開催されました。本学は、健闘むなしく優勝した九州歯科大学に2回戦で13対0と敗れ、4位となりました。

平成19年度学友会 総務委員長決定

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が12月18日に行われ、4学年村上弘君が総投票数510票中436票(85%)の信任票を獲得し、4月1日付けで平成19年度学友会総務委員長に就任することが決定しました。

短大保健福祉学科・施設実習決意式

11月20日、福岡医療短期大学305教室で、施設実習を行う保健福祉学科1年生42人の決意式が行われ、栢短大学長式辞の後、1年生を代表して高部裕子君が、実習に対する誓いのことばを述べました。



「誓いのことば」を述べる高部裕子君

From The Alumni Association

同窓会だより

福岡歯科大学同窓会主催第20回学術講演会報告

「インプラント時代の保存基準と咬合の再構成」



講師の榊恭範先生



講師の上田秀朗先生

去る平成18年10月1日、福岡県歯科医師会館(5階)視聴覚室において福岡歯科大学同窓会主催の第20回学術講演会が、受講者多数の下で盛会に開催されました。

今回は、同窓生で8期卒業の榊恭範(福岡県行橋市開業)先生と上田秀朗(福岡県北

九州市開業)先生を講師にお招きし、「インプラント時代の保存基準と咬合の再構成」をテーマに講演をしていただきました。

榊恭範先生には、歯科医師としての責務である天然歯列の維持と保護を行う上で、再生療法や切除療法などを駆使した保存か、戦略的に抜歯をしてインプラント治療を選択するかどうかの保存基準について、多くの臨床例を通して述べていただきました。

また、上田秀朗先生には、機能的な面だけでなく高いレベルでの審美性が求められ、益々多様化している近年のインプラント治療のニーズと、その一方で、口腔内の解剖学的な制約などにより、理想的な機能性・審美性を得られない、多くの問題点を抱える難易度の高いケ

ースの中から、術前の最適な最終設計、包括的な歯科治療におけるインプラントの審美性、一口腔内単位での咬合の再構成を考えた治療計画の立案を含め、具体的な方法を提示しながら述べていただきました。

両先生には、多数の臨床例の中から、組織再生・審美・補綴修復後の咬合・メンテナンスの重要性に至るまでの充実した内容で、しかも我々の明日の診療に多くの指針と指標をご教授いただき誠にありがとうございました。

末筆ですが、両先生、母校の諸先生方ならびに同窓の皆様方の益々のご清祥を衷心よりご祈念申し上げます。

学術常務理事 岩本 憲明(2期)

理想の同窓会創りをめざして(同窓会へ入会の勧め)

私、同窓会の未入会者対策の委員会を担当しております寺尾弘隆です。

今同窓会は、宮口会長の下で他大学の同窓会に負けない素晴らしい同窓会、皆さんが、福岡歯科大学の卒業生で同窓会に入会してよかったと誇れる同窓会を目指して広報、福利厚生、学術研修等の充実に邁進努力しておるところであります。

また、各県におきましても皆さんの先輩方が、県の歯科医師会の役員となり(例えば、佐賀

県歯科医師会会長:寺尾隆治先生、沖縄県歯科医師会会長:高嶺明彦先生、熊本県歯科医師会副会長:吉田公典先生、大分県歯科医師会専務理事:長尾博通先生他多数)頑張っていたいております。これは、新設の私立歯科大学卒業生では珍しく、大変栄誉なことであります。

皆さんが、本学をご卒業になり就職、開業をなされる際に非常に心強い味方になって下さる事と思います。

そこで、学生の皆様とご父兄の皆様にお願いがございます。まだ準会員の登録をお済でない方は登録を済ませていただき、めでたくご卒業の際には、同窓会へ入会していただきまして、冒頭で申し上げました理想の同窓会を一緒に創り上げ、地域の歯科医療に貢献出来るように協力し合おうではありませんか。どうかよろしく願いいたします。

寺尾 弘隆(4期)

卒業生トーク

「ヨット部創部30周年記念祝賀会」

福岡歯科大学ヨット部OB会会長 河波 裕二(2期)



私たち福岡歯科大学ヨット部OB会は、去る9月23日に、JALリゾートシーホークホテル福岡におきまして、創部30周年記念祝賀会を行いました。当日は、福岡歯科大学園理事長 田中健藏先生、福岡歯科大学同窓会会長 宮口徹先生、ならびに福岡県セーリング連盟会長 北島房之助様をはじめ福岡県ヨット連盟理事の方々にご臨席賜り、盛会のうちに終えることができました。

思い起こせば、私たちヨット部は、開学3年目に、修猷館高校ヨット部出身で3期生の浅田英文先生が中心となり、最初は愛好会として発足しました。発足当初は艇もない状態でしたが、初代顧問の元矯正学講座助教授 山田勲先生のご協力によりスナイブクラ

スのヨットを購入し、やっと正式な活動ができるようになりました。それから30年それぞれその時代のOBが、紆余曲折の時代を過ごして参りました。レースメンバーが4人しかおらず、ギリギリの状態でもオールデンタルに参加したこともありまして。昨年度はオールデンタルのヨット部門を23年ぶりに福岡で開催することが出来ました。また、田中理事長にご尽力頂き、学園に新艇を購入して頂くことも出来ました。

この祝賀会を行って見て、30年間は私たちの力だけで為し得たものではなく、福岡歯科学園、福岡歯科大学の皆様および福岡のヨット関係者の皆様が、温かく時には厳しい目で私達を常に見守ってくださっていたことを痛感いたしました。

私たち、福岡歯科大学ヨット部のOB一同も、縦のつながり、横のつながりを大事にしながら、クラブのバックアップのみならず、お世話になった皆様に少しでもご恩返しが出来るとようなOB会であればと思っております。



祝賀会前のOB戦

これからの 歯科医院 にあるべきこと



私は平成10年に福岡歯科大学を卒業し、長崎大学第2補綴科にて3年間、勉強させていただいた後、平成14年長崎市に「東歯科医院」を開業いたしました。開業して4年、長崎市は歯科の激戦区であり、近隣への歯科医院開業ラッシュ、それに加え、少子高齢化・社会保険本人の3割負担、老人の負担率UPの波を受け、全国と同様患者数が減り、一医院当たりの収入は激減し続けています。医院数が少なく医療需給関係がよかった時代は過ぎ、1年間に約2000の歯科医院が開業していくといわれている中で、どれだけ患者様に信頼され、地域に密着した歯科医院であるかということが最大の課題となりました。近年では患者様の歯科に対する知識も高まり、テレビや雑誌などでも「予防という概念」が取り上げられるようになってまいりました。昔の「痛いところだけ治療する歯科医院」ではなく、予防についての情報をどれだけ患者様に供給できるか、いかに大切かを考え、「治療中心の歯科医院」から「メンテナンス中心の歯科医院」として現在頑張っております。

また、予防中心の歯科医院であるために、患者様を前にして、口腔ケアについてわかりやすく、動機付けを高めることができるような技術と理念を持ったスタッフ教育やスタッフとのコミュニケーションを大切に、お互いが信頼でき、働きやすい歯科医院づくりがこれからの私の役目だと思っております。

最後になりましたが、口腔の健康の回復、増進をはかり、健康で安心して暮らせる社会づくりに努力を積み重ねていきたいと考えております。

東歯科医院(長崎市)
東 義隆(21期) = 文

写真上=東歯科医院入口
写真下=スタッフと一緒に(左端が筆者)



ふるさと、 長崎に 帰って



私は、高校卒業後、予備校2年間、大学生活6年間、勤務医生活6年半と福岡で勉強し、歯科医師としての経験を重ねてまいりました。そして昨年の夏に、生まれ育った長崎で新規開業致しました。

福岡と長崎は、車で2時間程といった短い距離であるにもかかわらず、約15年ぶりの長崎での生活に慣れるにはそれなりの時間を要しました。そして、帰省することと生活の基盤を置くことでは、大きな違いがあることに気づかされました。とは言っても、山や海といった自然に囲まれた長崎は、空気がおいしく、方言などの独特のフレーズなどが懐かしく思われ、福岡での生活とは異なった充実した日々を毎日送っています。

開業に際しては、今まで勤務してきた医院の先生、大学時代の先輩そして同級生などに助言していただき、試行錯誤しながらも無事に開業することができました。病院のスタッフは、受付・助手・衛生士そして私の4人となっております。

長崎は、「坂の町」として有名であることは皆さんもご存知であろうと思います。あまり想像することができないかもしれませんが、長崎の住宅は、山の傾斜部分にまで建てられており、自宅駐車場が家の前ではなく坂や階段を上り下りした少し離れたところに位置しているということはありません。従って、買い物はもちろん通院に関しては高齢者の方でさえも坂や階段を利用し、幾分かの時間をかけて来院されます。このことは一人一人の患者さんを大切にすることの重要性を再確認し、自分自身の気持ちを引き締めることにも繋がりました。

今後、地域の歯科医療や長崎歯科医師会の向上に貢献していきたいと思っております。

面白みがない原稿ですが、これでしめさせて、いただきます。

はら歯科医院(長崎市)
原 精一郎(21期) = 文

写真上=メリークリスマス!(受付)
写真下=診療室へ続く廊下には電飾のトナカイが...



平成19年度入学試験日程

福岡歯科大学 歯学部			福岡歯科大学大学院 歯学研究所	
区分	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	二次募集
募集人員	約46名	約10名	約10名	18名
出願受付期間	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.1.22(月)-2.13(火)	H19.2.13(火)-3.6(火)	H19年1.29(月)-2.16(金)
試験日	2月1日(木)	2月17日(土)	3月8日(木)	2月22日(木)
合格発表日	2月7日(水)	2月21日(水)	3月14日(水)	3月7日(水)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp			

福岡医療短期大学・歯科衛生学科				
区分	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	15名	5名	若干名	40名
出願受付期間	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(水)	
合格発表日	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp			

福岡医療短期大学・保健福祉学科					
区分	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	10名	若干名	若干名	若干名	20名
出願受付期間	H19.1.4(木)-1.29(月)	H19.2.5(月)-2.22(木)	H19.3.1(木)-3.12(月)	H19.3.16(金)-3.24(土)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	2月1日(木)	2月24日(土)	3月14日(水)	3月26日(月)	
合格発表日	2月6日(火)	3月2日(金)	3月16日(金)	3月27日(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp				

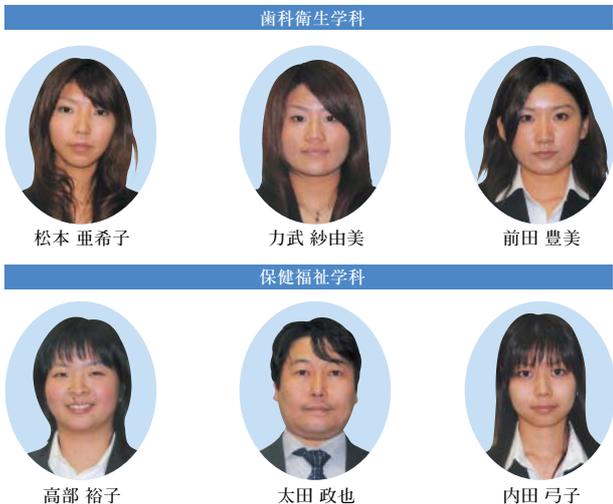
福岡歯科大学特待生

福岡歯科大学・第1学年の平成18年度特待生に次の6人が選ばれました。特待生は、学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康であることを加味決定され、その年度の授業料の半額が免除されます。



福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学の平成18年度・第1学年特別奨学生に次の6人が選ばれました。特別奨学生は、その年度の授業料の半額が免除されます。



サンシャインシティ、サンシャインプラザ クリスマス・忘年会

12月17日、介護老人保健施設サンシャインシティで、クリスマス・忘年会が開催され、入所者や職員による合唱や出し物が披露され、入所者とその家族が楽しい一時を過ごしました。

また、隣接の介護老人福祉施設サンシャインプラザにおいても、12月12日に忘年会が行われ、ダンスやレクリエーションを行い大いに賑わいました。

教職員ソフトボール大会

10月15日、福岡歯科大学グラウンドで平成18年度教職員ソフトボール大会が開催されました。決勝戦は口腔・顎顔面外科学講座のメンバーで構成される“O.feat.ikb”チームと事務職員のメンバーで構成される“村田ジャパン”チームが対戦し、9対8で“O.feat.ikb”チームが逆転サヨナラ勝ちしました。

優勝チームの皆さん▶



寄付のお願い(税制上の優遇措置があります)

本学園では、教育・研究の奨励等として、教育・研究資金及び施設設備などの更新・充実に活用するため、寄付金をお願いしています。

なお、本学園は平成17年8月に文部科学省から特定公益増進法人に認定されており、ご寄付いただいた個人及び企業には税制上の優遇措置が講じられます。

詳しくは住所を管轄する税務署にお問い合わせください。

本学園の問い合わせ先は、経理課 092-801-0411(内線553)まで。

寄付の税制優遇措置

■個人の場合

所得控除額=寄付金額(所得の30%が上限)-5千円

ただし、「学校の入学に関してなす寄付金」に該当するときは、寄付金控除の対象とはなりません。

■法人の場合

一般の損金算入限度額と同額の損金算入額が別枠で認められます。